

パナマで東部ウマ脳炎が発生

2010 年 6 月 21 日 ProMED 情報(Prensa Latina)



パナマ保健当局は、3名のウマ脳炎患者を見つけたと報告しました。現在までに陽性患者は11名に増加しました。7名は入院中で、そのうち2名が重症、3名は退院しました。また2歳の少女1名が死亡しました。

この脳炎はダリエン Darien(コロンビアとの国境)およびパナマの東部地域の州に発生しています。これまでの調査ではヒトでは、65%、ウマでは90%近くが死亡する東部ウマ脳炎だということです。

〔ProMED調整者〕

この報告からは、東部ウマ脳炎の確定診断がなされたようです。

6月9日のProMED情報によると、パナマ政府は、国際獣疫事務局(OIE)に、ベネズエラウマ脳炎(VEE)ウイルスがウマ脳炎の原因だと示唆しています。

今回、同国保健省が公式に、これらが東部ウマ脳炎(EEE)ウイルスによる感染であると確定したとすると、ダリエン地域では両方のウイルス感染が起こっているかもしれません。